

平成23年度 同窓生による特別授業一覧

講座 1

講師氏名	36回生 山本 保 (やまもと たもつ)
所 属	株式会社マイクロエミッション代表取締役
経 歴	1991年 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修士課程 修了 同年 東芝入社 (半導体事業本部にて、LSI 設計 CAD 開発) 1997年 Uターンして地元企業に就職 (LP ガス販売事業者向けシステム開発) 2001年 個人創業 (有限会社テノール、システム開発受託など) 2006年 株式会社マイクロエミッションを共同創業
著書・論文	共著 (山本保、高村禪) 分析化学学会誌「ぶんせき」2009年1号 【創案と開発】超小型元素分析装置の開発
講義題目	地元から独自技術の世界へ発信、超小型元素分析装置
講義概要	Uターンから創業までの経緯、会社及び装置の概要、大学の研究を社会に還元するために行ってきた活動を順に紹介した上で、世界を相手に活動して日頃感じていることを述べる。

講師氏名	36回生 高村 禪 (たかむら ゆずる)
所 属	北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科 教授
経 歴	1995. 3 東京大学大学院工学系研究科金属工学専攻博士課程 修了 1995. 4 日本学術振興会特別研究員 1996. 5 文部省宇宙科学研究所助手 1999. 2 東京大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 助手 2003. 4 北陸先端科学技術大学院大学材料科学研究科 助教授 2011. 5 北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 教授
著書・論文	High sensitive elemental analysis for Cd and Pb by liquid electrode plasma atomic emission spectrometry with quartz glass chip and sample flow, Atsushi Kitano, Akiko Iiduka, Tamotsu Yamamoto, Yoshiaki Ukita, Eiichi Tamiya, Yuzuru Takamura, Analytical Chemistry 83(24), 9424-9430, November 2011.
講義題目	地元から独自技術の世界へ発信、超小型元素分析装置
講義概要	失敗実験から、原理発見。超小型元素分析装置ができるまで。

講座2

講師氏名	44回生 輪島 裕介 （わじまゆうすけ）
所属	大阪大学文学部・大学院文学研究科 准教授
経歴	東京大学大学院人文社会研究科（美学芸術学）博士課程修了。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員、国立音楽大学・明治大学他非常勤講師を経て、2011年より現職。
著書・論文	『創られた「日本の心」神話—「演歌」をめぐる戦後日本音楽史』 光文社新書 2010年刊 第33回サントリー学芸賞（文学・芸術部門）受賞 国際ポピュラー音楽学会賞（非英語部門）受賞
講義題目	大衆音楽からみた近代日本—ジャズソング・演歌・Jポップ
講義概要	主に昭和以降の大衆音楽史を、日本の文化的な近代化と西洋化の過程として概観する。 人文学としての音楽研究および大衆文化研究の基本的な問題関心や方法についても紹介したい。

講座3

講師氏名	50回生 赤谷 俊彦 （あかたにとしひこ）
所属	総務省 情報通信国際戦略局 国際経済課 多国間経済室
経歴	平成11年3月 金沢大学教育学部附属高等学校 卒業 平成15年3月 東京工業大学理学部数学科 卒業 平成17年3月 東京工業大学大学院理工学研究科数学専攻修士課程 修了 平成17年 総務省に入省、統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室に勤務 平成18年 政策統括官（統計基準担当）付統計企画管理官付 平成19年 政策統括官（統計基準担当）付 統計審査官（経済統計担当）付 平成21年から現職
講義題目	ICTとTPP —テレコム外交って何？—
講義概要	通商交渉・貿易交渉というと、真っ先にモノの貿易や関税を思い出しがちですが、ICT（情報通信技術）サービスの国境を越えた提供についても活発な議論がなされていることをご存知でしょうか。本講義では、最近大きな話題を呼んでいるTPP（環太平洋パートナーシップ）を巡る動きにも触れつつ、私の業務内容、総務省を志望したきっかけなどについてお話いたします。

講座4

講師氏名	5 1 回生 桶葭 興資 (おけよしこうすけ)
所属	理化学研究所 基幹研究所 日本学術振興会 特別研究員 PD
経歴	<p>2005. 3 東京大学工学部マテリアル工学科 卒業</p> <p>2007. 3 東京大学大学院 工学系研究科マテリアル工学専攻 修士課程修了 修士 (工学) 取得</p> <p>2010. 3 東京大学大学院 工学系研究科マテリアル工学専攻 博士課程修了 博士 (工学) 取得</p> <p>2007. 4 - 2010. 3 東京大学大学院 工学系研究科マテリアル工学専攻 日本学術振興会 特別研究員 DC1</p> <p>2010. 4 - 2011. 3 東京大学大学院 工学系研究科マテリアル工学専攻 文部科学省 特任研究員</p> <p>2011. 4 - 現在 理化学研究所 基幹研究所 日本学術振興会 特別研究員 PD</p>
著書・論文	<p>(原著論文)</p> <p>[1] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Macromol. Rapid Commun.</i> 29, 897-903 (2008). “Shrinking Behavior of Surfactant-Grafted Thermosensitive Gels and the Mechanism of Rapid Shrinking”</p> <p>[2] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Soft Matter</i> 5, 4118-4123 (2009). “Hydrogen Generating Gel Systems Induced by Visible Light”</p> <p>[3] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Chem. Commun.</i>, 6400-6402 (2009). “Temperature Control of Photoreaction for Hydrogen Generating Gel Systems”</p> <p>[4] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Adv. Funct. Mater.</i> 20, 708-714 (2010). “Oxygen-Generating Gel Systems Induced by Visible Light”</p> <p>[5] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Chem. Commun.</i> 47, 1527-1529 (2011). “Role of Copolymerized Photosensitizer in Hydrogen-Generating Gel Systems for Higher Quantum Efficiency”</p> <p>[6] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Small</i> 7, 311-315 (2011). “Photoinduced Hydrogen-Generating Nanogel Systems”</p> <p>[7] K. Okeyoshi, <i>et al.</i>, <i>Langmuir</i> 28, 1539-1544 (2012). “Effect of Nanointegration on Photoinduced Hydrogen-Generating Nanogel Systems”</p> <p>(総説・解説) 桶葭 興資、吉田 亮:「新規バイオミメティックゲルの創製」<i>工業材料</i>, 58 (1), 38-39 (2010).</p>
講義題目	人工葉緑体をつくりたい!
講義概要	21 世紀は光の時代と言われて久しく、物理、化学、生物の分野を超えた新しい研究が切り開かれている。本講義では、植物の葉緑体に学んだ人工光合成への挑戦について、特に、生体に近いソフトでウェットな材料「ゲル」を用いた挑戦について紹介する。また、大学や大学院での研究生活についても触れたい。